

3.11に思う

2014年3月13日

クローバー・アセットマネジメント株式会社
代表取締役社長 多根幹雄

あの時は何が本当に大事か、何をすべきかを随分考えさせられたものでした。私が考えたのは『自分だけ良ければいい、今さえ良ければいい。』という社会から『皆に良く、そのうえ、時間の経過とともに良くなる』社会を実現しなければならないという思いでした。この実現に努力することは、震災後生き残った人間の役割だと思っています。

例えば原発ですが「電気は使いたい、危ない原発は地方に」といった考え方もそうですし、「施設や使用済み燃料の廃棄に莫大な費用がかかるけれど、今、快適に電気が使えれば後世の人間が何とかしてくれる」という考えは『自分だけ良ければいい、今さえ良ければいい。』という価値観の典型だと言えます。

農業のケースでも、放射線を使ったハイブリッドや遺伝子組み換えの種を、化学肥料と農薬を大量に投与して生産性を上げる一方で、「そんなものはとても食べられない」と、自分の家族の食べる分は有機無農薬で別につくる農業従事者がいます。さらに悪いことに、田畑の土は化学肥料と農薬で年々悪くなって行きます。そこで、その土を多額の税金を使って何年かに一度入れ替えるのです。もっともそこまでしないと食べていけない農業に問題があるのも事実ですが。

金融も同じ様なことが言えます。顧客には手数料収入の多い自社ファンドの買い替えを何度も勧めながら、自分は他の投資をして平気な金融業界の人間がいます。また運用の世界でも莫大な資金を背景に、例えば石油や小麦が必要でなくても、上がると思えば買い上げて利益を得ている人間がいます。その結果、世界中で生活苦を強いられる人がどれほど増えるかということは一切考慮しません。世の中に付加価値を提供して貢献するどころか、むしろ混乱させている人間が、とんでもない高額収入を得ているという誠に異常な世界になっています。しかもやっかいなことにクリック一つで得られた大金と、汗水たらして得たわずかな賃金が同じ価値の貨幣で取引されているのです。

『投資』という言葉を知ると、多くの人が「危ない！」と直感的に感じて避けようとするのは、このような現在の金融の持つ異常さがその理由ではないでしょうか。我々の役割はそんな金融市場からの攻撃を避けながら、皆様に安全に最終目的地までお届けすることだと思います。また本来の金融は『余っているお金を、必要なところで活かすことで、新たな産業を生み、人々を豊かにし、雇用を生むお手伝いをする。』という大事な役割があります。クローバーも、本来の金融機能を果たせる新しい金融を創造し、『皆に良く、そのうえ時間の経過とともに良くなる』社会を実現するお手伝いができることも、将来の目標として頑張っていきたいと思っています。

ファンド概況

基準価額	10,672円	純資産総額	2,994百万円
設定日	2013年4月15日		
信託期間	無期限		
決算日	毎年2月25日		

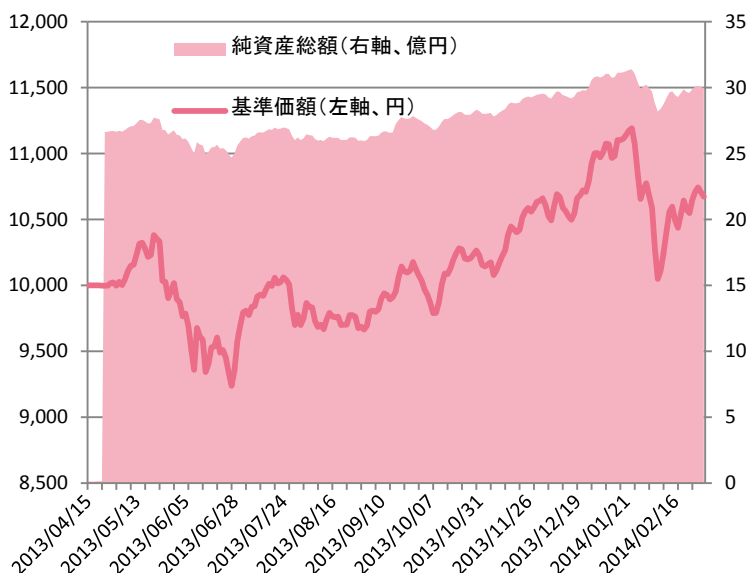
期間別騰落率(%)

1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
-0.07	0.37	10.18	—	—	6.72

分配金(円)

1期 ('14/2/25)	2期	3期	累計
0	—	—	0

基準価額と純資産総額の推移



運用コメント

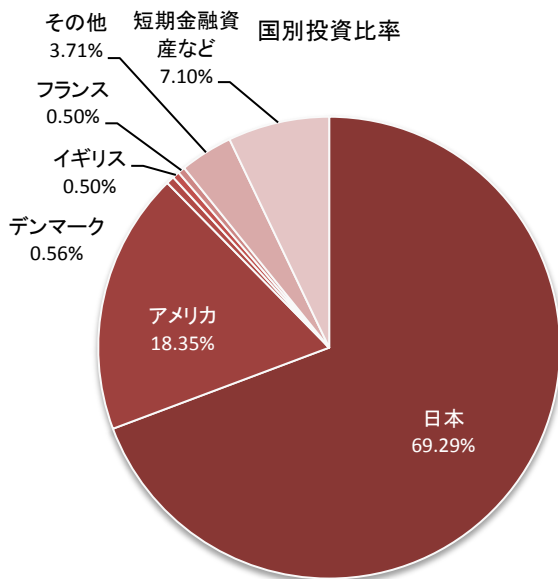
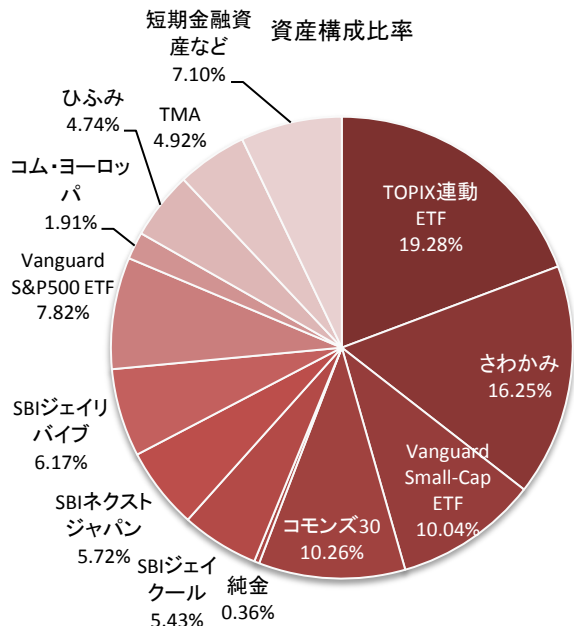
2月は、1月末の調整局面に引き続き、新興国の景気減速懸念や、更に米・ISM製造業景況感指数の影響を受けて米国の景気回復にも暗雲が立ち込める中、為替も大きく円高に振れ、米国株と共に日本株も大きく値を下げました。その後は一進一退の攻防が続きましたが、米国のマクロ指標悪化は寒波の影響が大きいとの見方が大勢となり、結果としてS&P500は高値更新となりました。失業率のさえない数字も、むしろ金融緩和縮小の先送りの印象へと繋がったようです。

一方、日経平均は、月初の14,000円付近を底に、緩やかではありますが、為替の円安への回帰と共に徐々に値を上げて来ました。さらに最近では、好調な企業業績を背景に、「春闘でのベースアップ」「満額回答」などの文字が、新聞紙上をにぎわしており、実体経済の力強いエネルギーが、さらに感じられるようになって来ています。

こうした中、コドモファンドは、昨年秋から大きく利益をもたらしてくれたTOPIX連動ETFを1月後半に一部売却、新たにTMA長期投資ファンドとひふみ投信を組み入れましたので、2月初旬の大幅な調整を最小限に抑えることができました。

今後も、ウクライナの政情不安、中国の理財商品の問題、それに日本の消費税率アップなど、経済リスクのトリガーとなりうる事象も山積していますが、実体経済の鮮明な回復と共に大幅な株価上昇を想定しており、そうした問題に関連した株価調整を買い場ととらえ、積極的に安値を買っていきたいと思っています。

ポートフォリオの状況



コドモファンド純資産総額に対する上位組入れ銘柄・比率 (ETFは除く)

(組入れ銘柄数:460銘柄)

順位	銘柄名	業種	組入れ比率	組入れファンド名
1	トヨタ自動車	世界最大級の自動車メーカー	0.850%	さわかみ
2	ブリヂストン	世界最大手のタイヤメーカー	0.749%	さわかみ
3	デンソー	トヨタグループに属する自動車部品メーカー	0.488%	さわかみ
4	花王	家庭用・業務用の洗剤・トイレタリー用品の製造・販売	0.466%	さわかみ
5	味の素	アミノ酸をコアとした食品企業グループ	0.464%	コモンズ30
6	カカクコム	電気製品等の価格比較サイト「価格.com」を運営	0.453%	コモンズ30
7	三菱重工業	船舶、航空など総合機器メーカー	0.452%	さわかみ
8	楽天	「楽天市場」等インターネット総合サービスを展開	0.448%	コモンズ30
9	国際石油開発帝石	石油・天然ガス等の調査、探鉱、開発、生産、販売など	0.445%	さわかみ
10	三菱商事	三菱グループ中核の総合商社	0.432%	コモンズ30

ファンドの特色

①「長期投資」

世界経済は大きなサイクルでダイナミックに変化しており、それに伴って、株式や債券、商品、不動産等の資産価格も変動しています。短期的な動きには追従せずに、長期的な視点で世界を俯瞰した運用を行います。

②「分散投資」

政治・経済の様々なリスクに対応するために、国や地域、資産そして時間を分散させます。分散投資をより効果的に行うために、国内外の複数のファンドに投資します。

③「厳選したファンド」

当ファンドの目的や運用方針を共有できる運用会社を厳選し、その会社が運用するファンドに投資します。また組入れにあたっては、国内外のETF(上場投資信託証券及び上場投資証券)に投資する場合があります。

ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。

投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

<お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください>

ファンドにかかわる費用

購入・換金手数料	ありません
信託財産留保額	ありません
運用管理費用 (信託報酬)	年率1.05%(税抜き1.0%) 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.9±0.25%(概算)
その他費用・ 手数料	信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

業務管理部からのお知らせ

【ご登録内容の変更はございませんか？】

もうすぐ春ですね。お引越しなど新生活の準備で何かと忙しい方もいらっしゃると思います。

ご転居等によりご住所、ご連絡先に変更はございませんか。

お取引に関する重要な書類や大切なお知らせなどがお届けできなくなりますので、ご変更がございましたら、下記の手順にて必ず変更手続きをお願い致します。

①「登録事項変更届」の用紙を弊社ホームページまたはお電話にてご請求ください。

②「登録事項変更届」にご記入のうえ、ご返送ください。

※弊社ご登録印であることをご確認ください。

※新住所が記載された「ご本人様確認書類」(運転免許証の写し・住民票等)をご同封ください。

③後日、弊社より「登録内容変更の控え」を送いたしますので、内容をご確認ください。

なお、メールアドレスのご変更は、弊社ホームページまたはお電話でもお手続きを承ります。

<ホームページの場合>

「各種お手続き」→「メールアドレス・レポート受取方法変更」フォームよりご連絡ください。

<お電話の場合>

「メールアドレスが変更となった」旨をお申し出ください。

【運用報告書発送のお知らせ】

2014年2月下旬、3月上旬に、弊社で運用しておりますファンドの決算を行いました。

つきましては、3月下旬頃にファンドの運用状況等をご報告する、「運用報告書」をお送りいたしますので、ご一読いただければ幸いです。

【毎月つみたてスケジュール】

引落開始月	新規申込・引落口座 変更締切日	引落金額変更・ 中止締切日	引落日	約定日
平成26年4月	受付終了	3月25日(火)	4月7日(月)	4月17日(木)
平成26年5月	4月2日(水)	4月21日(月)	5月7日(水)	5月19日(月)

※毎月つみたてサービスの金額変更・中止については、お電話でも承っております。その際、ご本人様確認(氏名、住所、現在の契約内容等)をいたしますので、予めご準備をお願いいたします。

クローバー・アセットマネジメント株式会社 業務管理部 (受付時間: 平日9時～17時)

TEL: 03-3222-1220 / E-mail: gyoumu@clover-am.co.jp

当資料のご利用にあたっての注意事項

■当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産に投資する場合は、為替変動リスクもあります)に投資いたしますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の皆様は投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。■運用による損益は、すべて投資者の皆様へ帰属します。■当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。■当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。■投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

ファンドご購入方法のご案内

クローバー・アセットマネジメント株式会社

このご案内は2013年4月3日以前に当社に口座開設されたお客様向けのものです。

今までお取引のないファンドを購入する場合→ご注文(購入連絡)が必要です

1

お振込

○既にお取引しているファンドが1つの場合
→今までと同じ口座にお振込ください。

○既にお取引しているファンドが2つ以上の場合
→今までと同じ口座のいずれかひとつにお振込ください。

2

ご注文(購入連絡)

○購入ファンド名と購入金額をお知らせください。

【お電話】03-3222-1220

または

【HP】<http://clover-am.co.jp> 「ファンドのご注文(購入)」をクリック

3

受付完了

！申込当日の15時までに「お振込」・「ご注文(購入連絡)」をお願いします。

！「ご注文(購入連絡)」がない場合は、全額、お振込先口座のファンドの購入となります。

！ご注文(購入連絡)内容の変更・取消しは、申込当日の15時までとなります。

※ご注文内容の変更・取消しは、お電話でのみ承ります。

4

購入(約定)

○受付完了日の翌々営業日の基準価額での購入(約定)となります。

○取引明細を記載した「取引報告書」を送付いたします。

既にお取引している1つのファンドを購入する場合

今までと同じ方法(購入代金の振込後、ご注文なし)でお取引いただけます。

複数のファンドをまとめて購入することも可能です

複数のファンドを同時に購入する場合は、お持ちの口座のいずれか1つにお振込ください。※振込手数料が1回分で済みます。

お振込後、ご注文(購入連絡)を必ずお願いいたします。

ファンドのご解約(換金)はお電話(03-3222-1220)でのみ承っております